

京都精華大学 オープンキャンパス 2月18日(日)

KYOTO
SEIKA
UNIV.
2018
OPEN
CAMPUS
GUIDE

Doors

「ドアーズ」

volume

06

卒業制作は
つくられる

作品ができるまでの道のりを知れば、卒展観賞がもっと面白くなる。

地道な制作を 重ねてできあがる みんなの集大成

4年間の学び・研究の集大成となる卒業制作(卒制)・卒業論文(卒論)。
そんな作品や論文は、長い自分との対話を経てのコンセプト設定、地道なクロッキーや素材の制作、下描きの連続という知られざる裏側があって完成するもの。
そこで今号では、各学部のセイカ生たちに、「卒制ができるまでの裏側」を聞いてきました!
加えて、展示される卒制の一部を高校生のみなさんにちょい見せ!どんなふうにつながれたか、その裏側を知ればよりいっそう作品を観るのが面白くなるはず。今回紹介するものはすべて、2月14日～18日に開催される「京都精華大学展 2018～卒業・修了発表展～」で展示されますので、実際にその目でご覧になってください!

こうして 卒業制作は 完成品は卒展で! つくられる



デザイン学部 建築コース
栗栖さんの卒制ができるまで!

実際の土地を想定して つくられた共同住宅



1 コンセプトや建設場所を想定する

どんな建物を建てたいか、その建物を使うのはどんな人たちが想像しながら、コンセプトを紙に書き出します。実在する土地に建設するイメージなので、地図を見ながら建設場所を探します。



2 建築物を大まかにデザインする

建設場所が決まったら、地図に合わせて大まかな間取り図をトレーシングペーパーに描きます。道路や建物の動線、間取りの組み合わせを考えるなど、20枚以上のパターンを出しながらデザインを詰めていきます。



3 模型をつかって立体的なデザインを詰める

おおよそのデザインができあがった模型をつくり出します。ここで一度先生たちにプレゼンをして、アドバイスをもらいながら制作のクオリティを上げていくんです。

僕は口下手なのでプレゼンが苦手で(笑)、そのぶん実直にものをつくることを意識しています。



芸術学部 映像専攻
片岡さんの卒制ができるまで!

筆跡の動きがつくる 不思議な世界観の映像作品



1 世界観や全体の尺を決める

草書体で書かれた本を参考に、文字をモチーフにした動画のタタキ台をつくり出します。コンセプトになるキーワードや、大まかな画面イメージ、映像の尺やカメラが切り替わるポイントなどをざっくり書き出していきます。



2 半紙に文字を書いてカメラで撮影する

動画の材料を制作します。筆で草書体の文字を書いて、筆が写らないよう裏からカメラで、書く軌跡ごと撮影しました。ほかにもボールペンで緻密な文字を膨大に書いて、それも動画の中に登場させています。

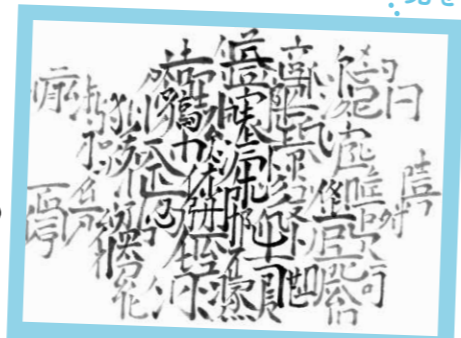
僕は1年生の頃から、文字が書かれる軌跡をモチーフにして作品をつくってきました。卒制はその集大成になります。



3 映像を編集する

動画編集ソフトを使い、撮影したさまざまな映像を組み合わせて1本の映像作品にします。合成や切り貼りを繰り返しながら、イメージした動きが映像に落とし込まれるよう、何度も再生して気になった部分を調整していきます。

ちょい見せ!



文字の意味や成り立ちではなく、筆跡がつくりあげる世界感を表現した映像になっています。動画のクライマックスに向けてじょじょに筆跡が入り乱れていく様子は、静かな中に熱量を感じられるのではないかと考えています。

ちょい見せ!



卒展ではより詳細でつくりこんだ模型を展示!また、詳細な間取り図も制作します。プレゼン用の資料として、模型と一緒に見ていただけるようになっていますよ。

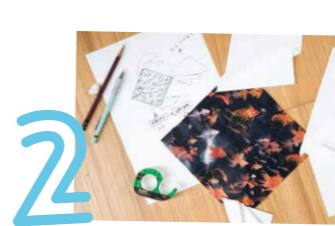
建築は建物のデザインだけではなく、その建物が人の暮らしにどう作用するかを考える「目に見えないデザイン」も重要です。こんな建物があつたらいいなと思ってもらえたら、うれしいです!

ハイブランドのスーツにも使われる高級な布を贅沢に使い、裏地も縫い上げて実際に着用が可能な作品になるようこだわりました!



1 コンセプトや作品イメージを書き出す

作品に込めたいキーワードやイメージを箇条書きやマインドマップ状に書き連ねて、言葉から卒制のコンセプトをつくっていきます。



2 卒制のミニチュアをつくる

作品の全体図がないと、大きなキャンバスで描いたときに苦労します。なので、あらかじめデジタルで卒制のミニチュアのようなものをつくって、色合いやモチーフの配置など、作品全体のイメージを把握しておきます。



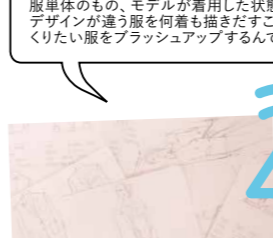
マンガ学部 カートゥーンコース
武下さんの卒制ができるまで!

折り紙の金魚が 命を持って画面に舞う油彩



1 市場のブランドイメージを研究する

国内外を問わず多くのブランドの服を雑誌などから集めて、「カジュアル」や「シンプル」などのカテゴリーに分けていきます。そこから、自分がつくる服が市場のブランドのなかでどの立ち位置に属するかを考えます。



2 デザイン画を制作する

ブランドのイメージが固まったら、さまざまなパターンのデザイン画を描いていきます。ブランドイメージをより洗練させるため、実際に制作はしませんが、靴やアクセサリーなども想定します。



ポピュラーカルチャー学部 ファッションコース
赤坂さんの卒制ができるまで!

ユニセックスさが光る 女性向けスーツ



1 仮縫い布でプロトタイプを作成する

「パターン」と呼ばれる服の制作に使う型紙をつくり、安価な仮縫い用の布でプロトタイプを作成します。本番用の布は失敗ができないため、ここで襟の形やポケットの位置など、細かなディテールを詰めていきます。



本番用の布を使ってジャケット、パンツ、シャツを縫い上げます。1年生の頃からユニセックスなデザインをつくり続けてきたので、このスーツ一式はまさに集大成。当日はビジュアルポスターやブックレットも展示してブランドの世界を伝えますよ!

ちょい見せ!



3 クロッキーと折り紙でモチーフをつくる

金魚の図鑑や写真集をみながら、クロッキーで金魚のフォルムを学びます。写実的やマンガ調など、作品の絵柄をどうするかも描きながら決めていきます。作品の中に登場する「折り紙の金魚」もたくさん折って造形を理解します。

ちょい見せ!



高校時代は油彩を学んでいたのもあって、卒制はキャンバスに油絵の具を選択しました。たくさんの金魚が画面の中でゆらめいている、描き込みの多い作品になっています!

人文学部 総合人文学科
山下さんの卒論ができるまで!

若者の「居場所」と「人間関係」の関係性について考察



1 論の裏付けとするためのアンケートを実施する

若者のライフスタイルの実態を把握するため、学生を対象にどんな生活をしているかのアンケートをおこないます。350人以上の学生のみなさんに声をかけ、地道に調査していきます。



2 集計した調査をふまえ、自分の考えを論文にまとめていく

アンケート調査の結果や、自分自身の体験談、調査から得られた考察などを擦り合わせ、ひとつの論文として文章にまとめます。グラフなどの図形も駆使し、読み手に伝わりやすいよう心がけて書き連ねていきます。

「学校や職場」と「家」とは隔離され、一個人として心安らげる「サードプレイス」の存在が人には必要だという考えがあります。自分自身の体験をきっかけに、若者のサードプレイスについて論文を書くことにしました。

ちょい見せ!



書き上がった論文は、卒展の場では製本されて冊子として読むことができます。人の生活や人間関係をより豊かにする「居場所」についての考察は、いろんな人に知ってほしい内容です。3万字以上の長文ですが、ぜひ読んでください。

他の学部と違って見た目のインパクトはありませんが、調査や執筆など、多くの工程や時間をかけてつくりあげる卒業論文。普段なかなか機会がないと思うのですが、卒展をきっかけに「論文を読む」ことを体験してほしいと思います。